

# 県医労新聞

2011年5月

盛岡市内丸11番1号  
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1850号(月刊65号)



みんな違って みんないい (医労連青年部「みちのくアクト in 青森」2010年8月20～22日 こけしの絵付け体験コーナーでの作品)

## 新採用者のみなさんへ

ご就職おめでとうございます。岩手県医療局労働組合(県医労)は、これからみなさんを歓迎します。本来であれば、4月1日の着任と同時に、呼びかけたい言葉だったのですが、今年はどうしてもそれができませんでした。

みなさんは、震災から4月1日までの間、どのように過ごされましたか？ガソリンがままならず、新幹線も復旧せず、引っ越しも容易ではなかったのではないのでしょうか？そして、めまぐるしく一ヶ月が過ぎ、そろそろ疲れもピークに達してはいないでしょうか？

県医労は、ともに元気に働きやすい職場・働き続けられる職場をつくっていきたく活動しています。働く上で困ってしまうことや、つらいことは当然出てくることでしょう。そんな時、いつでも相談して欲しいと思っています。つらいこと、悩んでいることが、もしかしたら「自分だけではなかった」、と気づくこともたくさんあるのではないのでしょうか。

一人はみんなのために、みんなは一人のために。それが組合です。組合の力は、一人一人が組合に加入して下さり大きくすること、要求実現(要望や願いをかなえる)の大きな力になります。

みなさんの、県医労への加入を呼びかけます。

## 目次

- 1～2P 3.11 東日本大震災  
見舞金給付、カンパのお願い
- 3P 人事異動の延期を求めて
- 4P 支部組合説明会・歓迎会  
医労連共済担当者会議

- 5P 看護部会、専従交代のお知らせ
- 6P 女性部ニュース
- 7P 青年部ニュース
- 8P つぶやき、とんがらし、2月号パズル当選者
- 9P 職場川柳、懸賞パズル  
5・6月の予定、お知らせ



3.11  
東日本  
大震災

# 被災から1ヶ月 現地では…

## 大槌町・陸前高田市へ



震災当時のままの高田病院  
米崎コミュニティセンターにて

### 高田病院を訪ねて

4月13日、震災から1ヶ月あまりが過ぎたこの日、県医労本部では高田診療所がある米崎コミュニティセンターを訪ねました。

総師長に面会后、休憩中の職員と話をすることができました。

3月11日、屋上へ避難する階段で、津波に引つ張られそうな体をみんな腕を組んで進んだこと、紙オムツを体に巻き、ビニール袋をかぶり、凍える夜を一晚しのいだことなどを聞きました。

現在は、大船渡病院勤務者や、高田診療所の、訪問診療（ローラー作戦）などをシフトを組んで仕事をしている人もいます。

自らも被災者である職員は支援はあると言いがらも、「みんな疲れている。明日のことがわからないのが不安。精神的に倒れないか心配」と最後に漏らしました。

自らも被災し、住居を失った職員には、今後のことについて考え、身体を休める時間の保障が必要だと痛感しました。

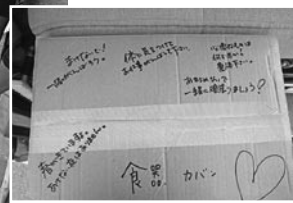
### 少しでも力になりたい！

#### 大槌支部へ支援物資

4月15日、県医労本部では、一戸、二戸、中央支部に協力を依頼した支援物資を、県医労宣伝カーにびつしり隙間なく積み大槌高校へ向かいました。



たくさんの支援物資を広げて



箱に書かれた一戸支部からの寄せ書きメッセージ

この日、医療局からは、今後の大槌病院体制についての説明があり、異動を言い渡される職員もいる中、落ち着かない雰囲気がありました。物資を運ぶところから協力してもらい、み



コーヒーメーカーを手に、「ありがとう」

なさんにお分けすることができました。

大槌支部の役員も、物資を分けるのに職員のみなさんに次々声を掛けてくれました。

コーヒーメーカーを手にした支部組合員の方は、「本当にありがとうございます。二戸、中央支部の方々に感謝していました。」と笑顔を見せ、一戸、

### =災害見舞金=

## 総額3千万円超給付

被災された組合員への見舞金として、4月19日現在で7支部・102名に約3,100万円を給付しました。

自宅全壊(30万円)、自宅半壊・借家全壊(20万円)のほか、床下浸水や、本人が借家住まいで仕送りしている実家が被災した場合なども給付対象です。詳しい内容は組合員手帳の弔慰見舞規程を参照してください。

なお、請求には支部からの災害報告書が必要ですので、まだ請求手続きをされていない方は、罹災証明書の写しか、被災した住居の写真を添付のうえ、支部を通じて請求をお願いします。

### 「東日本大震災」被災者救援カンパのお願い

3月11日午後に発生した地震は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらし、さらに福島原発事故による深刻な被害もひろがっています。

今回の震災で被害にあわれた方々と医労連の仲間に対し、県医労では1人1000円以上のカンパを目標に取り組んでいます。

カンパは支部ごとに集約し、本部へ報告の上、岩手医労連に直接送金してください。

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 銀行振込 | 東北労働金庫 盛岡支店<br>(普)5330338    |
| 口座名義 | 岩手医労連組織支援基金会計<br>執行委員長 中野のみ子 |

### ～みんな同じ被災者だから～

#### 県医労OB 大坪涼子さん訪問



大坪涼子さん

津波に流されなくなってしまいました。避難所では、まかない・衛生の責任者です。市議でもある大坪さんは避難所で過ごす方々の全ての窓口になっていました。話を伺っている最中も幾度となく声がかかっていました。

この日は微熱があり診療所を受診し、点滴してきたところでしたが、「私が具合悪いとみんなが心配するから寝てられないの」と何事もないかのよう

に答えてくれました。

自宅は土台を残して、津波に流されなくなっていました。避難所では、まかない・衛生の責任者です。市議でもある大坪さんは避難所で過ごす方々の全ての窓口になっていました。話を伺っている最中も幾度となく声がかかっていました。

避難所生活の不便さについて「みんな同じ被災者だからね」と、「つらい」という言葉を使いません。行政に望むことは？と聞くと「仮設（住宅）、若い人達の仕事、漁業者への支援」ときっぱり。

## 3月11日内示日のその日、大震災に

人事異動内示、その日の14時46分「大震災」が発生しました。震災後、電気・ガス・水道・電話・ガソリン・灯油など、ライフラインがままならない中での必死の救援活動はもとより、被災地をはじめ搬送先であるすべての県立病院でも大変な思いで、毎日必死に医療活動が展開されてきました。県医労は、「人事異動の延期」を求めて職員課長交渉や県への要請を行ってきましたが、残念ながらできませんでした。この間の取り組みのまとめを報告します。



地震で散乱した機材

## 人事異動の延期をもとめて 取り組みの総括

### 組合の動き

3月14日、組合では「東日本大震災にかかる申し入れ」を当局へ提出。「職員の安否など、相互の情報共有し被災者支援に協力しあうこと」、「人事異動の発令を延期して全体を見直すこと」等を申し入れました。16日、いわて労連鈴木議長を本部長とする「東日本大

震災岩手県共同対策本部」が岩手県知事宛「緊急申し入れ書」の中で、人事異動の延期も要望しました。3月18日には、「岩手県医療局人事異動の実施の強行について」としてマスコミへの情報提供を実施。翌日の毎日新聞記事には、「県人事に職員困惑」との見出しで報じられました。また日本医労連を通じて県知事宛、医療局長宛の「人事異動抗議FAX」の送付を依頼。県医労への激励とともに、当局への抗議FAXが日々寄せられました。3月22日、「いったいどう動けばよいのか」の不安な声がある中、医療局当局へ「質問状」を提出。これに対する回答は、最後まで聞くことができません

でした。また、県医労友の会に岩手日報「声の欄」への投稿を依頼。3月23日の「声の欄」には、○○○

○さん（県医労元委員長）からの「県の人事異動一時的凍結を」が掲載されました。そんな中、当初から沿岸部の凍結を決めていた教育委員会に続き、岩手県警、知事部局が「沿岸の凍結」等を次々に発表しました。医療局のみが、「内示の通り実施する」との姿勢を変えず4月1日を迎えました。

### そして4月

4月を迎え、「沿岸への異動は住居が決まらないので自宅待機」、「2ヶ月の延期」、「時期は未定だが延期」等、個別的な対応・病院個々の対応となっており医療局の無責任さが際だっています。



震災後、釜石病院で働くスタッフ

また新採用者の方々も、引越しや移動等非常事態での着任に想像以上の苦勞をしてきています。この間の忙しさやストレスの蓄積で健康被害が起きないように、周囲の声かけが大事になっていくのではないのでしょうか。

県医労は、引き続き被災した組合員・県民のみならず人への支援を追求しながら、ひとり一人の声や思いに依拠し働きやすい職場・明るい職場作りに奮闘する決意です。

# ひとりの力は弱くても 集まれば大きな力

— 久慈・南光支部組合説明会開催 —

## 久慈支部

久慈支部では、組合説明会を4月14日に院内会議室で開催しました。新採用者16人、支部四役、各職場からの付き添い者など、総勢28人が参加しました。

支部長が「一人ひとりの力は弱くても、みんなで集まれば大きな力となる。一緒に力を合わせましょう」と加入の呼びかけを兼ねてあいさつ。説明は、役員が担当を分担して行いました。



久慈支部組合説明会の様子

## 南光支部

軽食も準備され、1時間程で終了。さっそく翌日に加入用紙を持参する新採用者もあり、引き続き、執行委員、分会で声をかけていくこととしています。

南光支部では、昨年は新採用の配置が1人でしたが、今年は6人の新採用者がありました。

4月15日に、組合説明会を開催。事前に各新採用者といっしょに説明会に参加する組合員を決め、職場から一緒に職員ラウンジに集合。組合本部からは県医労について、青年部、女性部、壮年部も各役員から説明がありました。

説明会には、夕食のお弁当と、キーキが準備されました。1人は早速その場で組合加入用紙に記入。引き



南光支部組合説明会の様子

## 大震災への対応も含め 医労連共済担当者会議開催

岩手医労連で毎年開催してきた「医労連共済担当者会議」は、東日本大震災で多くの組合員が被災していることから、早期対応が必要と判断され4月2～3日開催、10単組39人(県医労からは10支部・本部15人)が参加しました。

1日目は、日本医労連共済会から、東日本大震災での被害等に関する諸手続きについて説明がありました。その中で県医労には、OB会員が家族を含め、約150人いることも報告され、早急に連絡を取る必要が出てきました。

2日目は、岩手医労連組織拡大と県医労実務担当者会議に分かれ、県医労では、実務の詳細にわたって交流しました。

震災の影響が続く中でしたが、実施してみると、現地での奮闘ぶりも確認でき、「開催してよかった」「沿岸の方の顔を見られて安心した」という声が聞かれました。



共済担当者会議参加者の皆さん



いのち・絆・守ろう岩手

## 2011ナースウェーブ集会

## 日時

5月14日(土) 13:30～  
白衣に着替えて集合

## 会場

盛岡市「プラザおでって」

## 企画

基調報告・記念講演  
署名と募金活動

主催：岩手県医療労働組合連合会・看護対策委員会

集まろう！  
ナースウェーブへ！！

## 本部役員交代のお知らせ

4月から本部役員が交代しました。

2年間休職専従を務めた〇〇〇〇書記次長が、  
一戸病院へ復職し、代わって〇〇〇〇副委員長（磐  
井支部）が休職専従として、  
本部へ着任しました。

新年度から新たな体制で  
取り組みますので、みなさ  
んよろしく願います。



〇〇〇副委員長

## 新しい仲間をナースウェーブへ

3月の東日本大震災の甚大な影響が  
収まらないまま、いつも以上に慌ただ  
しい新年度が始まった2011年度。

今年も新採用者のみなさんが職場で  
働き始めました。新採用の方が早く  
職場に慣れるよう、働きやすい職場づ  
くりとともに是非、組合加入の呼びか  
けをお願いします。

そして5月14日には、新採用の仲間  
を、ナースウェーブへ一緒に誘いあい  
ましょう。待ってるよー！

## 2011年国際女性デー岩手県集会

# 女性の人権が尊重される社会に

3月8日、「国際女性デー岩手県集会」が県民会館で開催されました。会場後方にはチューリップなどの春の花や、仕事帰りの空腹を満たすためのおにぎりやお菓子、コーヒーなどが販売され、ほっと一息ついて集会に参加しました。

### 国際女性デーのあゆみ

集会では主催者、来賓あ  
いさつその後、DVD「国際  
女性デー100年のあゆ  
み」を鑑賞。「パンと参政権」  
を求めて女性たちが立ち上

がってから、昨年の女性差  
別撤廃委員会までの女性の  
地位向上、平等、平和への  
実現をめざしてきた歴史が  
紹介されました。



講演する弁護士の大森典子さん

### 戦争と女性の人権

記念講演は、中国人慰安婦弁護団団長で、弁護士の

大森典子さんが、日本軍『慰安婦』問題について話しました。

日本軍が兵士を戦に向かわせるために、また不満のはけ口として作らせた「慰安所」ですが、日本政府は、「強制連行したわけではないので、責任はない」として、未だに、明確な補償も謝罪もしていません。女性を性の対象とし、差別する日本の見方は戦前から変わっていないと言えます。

戦後のあり方について、日本とドイツはよく比較されますが、ドイツは戦争での責任を繰り返し述べ、過去を忘れず、未来を作っていく努力をしているのに対し、日本は謝罪もせず、国際社会の信頼をなくしてい

ると言われています。

「慰安婦」問題は、重いテーマですが、この問題を解決することが、DVやセクハラ、性犯罪などの女性への暴力・差別撤廃と、女性の人権を守ることに繋がります。日本政府の真摯な謝罪と補償をすることが、解決につながるとして、一人でも多くの人に知ってもらいたいと結びました。



春の花々やお菓子・コーヒーの販売で賑わう会場

# 青年部「ブロック交流会」 学習・温泉・交流 & カニ!



南部&三陸ブロック

停滞気味だったブロック交流は、なんとか今年も全ブロックで開催することが出来ました。

トップで開催したのは北部ブロック（2月18～19日）。盛岡市つなぎ「愛真館」を会場に2支部・本部8名の参加で、本部〇〇書記長による「36協定について」の学習会を行い、大いに飲んで語って交流しました。

続いて開催したのは、南部&三陸ブロック（2月20～21日）。花巻市「大沢温泉」



北部ブロック

を会場に3支部・本部9名が参加しました。学習会は本部青年部〇〇〇副部長が担当し「組合費について」の学習会を行い、良質な温泉で日々の疲れを癒しました。

最後に開催したのは、中部ブロック（2月27～28日）。盛岡市つなぎ「紫苑」で開催し3支部・本部9名が参加しました。本部東森書記次長の「36協定&独法化」についての学習会の後は、ズワイガニ丸ごと一匹



学習は大切/みんなで賢い労働者になろう!

プランの夕食交流会。身のしっかり入ったカニをお腹いっぱい食べ至福の時間を味わいました。

参加支部の拡大が課題ですが、楽しく学んで交流し、温泉にも入れて良かったと参加者からは好評です。今後も本部青年部委員会や次年度の青年部長・書記長会議で協議を重ねながらより楽しい交流会を企画していきます。是非、みなさんの参加をお待ちしております。



中部ブロック

岩手県労働青年部

プレアクトいわて in 北上

とき 5月21日(土)14:00～22日(日)11:00

場所 サンタハウスGETO、瀬美温泉など

※参加費は無料(本部負担)です。詳細については支部宛に送付しています。

◆問い合わせ 019-623-8271 まで

# つばき

今回の大地震で、いかに

自分の住んでいる地域は被災しないと思っていたか思い知らされました。いつも災害は遠く離れた所でおこるものだ。まだ、盛岡は被害も少なく、2、3日の我慢で何とか耐えました、津波で家を失った人、家族を失った人、まだ安否が確認されていない人がいます。それでもみんな仕事を頑張っています。こんな時こそ力を合わせ頑張りたいと思います。

中央支部 いちごの母

地震の後、ライフラインが寸断され、不便な生活を強いられました。今まで自分は贅沢な暮らしをしてきていたのだなと実感させられました。電気も水も大切に使わなくてはと、強く

思いました。このような状況の中、なぜ、転勤発令がなされたのか、理解に苦しみます。

磐井支部 ベガ

大震災被害に、それぞれの場所で、それぞれが役割を果たそうと皆頑張っています。なかなか、春は来ないけれど、一日も早く、ホッ

とするような話題が増えていくことを願わずにはいられません。そして、福島原発、どうか、早く早く明るい兆しが表れますように。

中央支部 匿名希望



## 2月号パズル 当選者発表

2月号パズル「まちがいは7つ」には20名の応募があり、19名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

2月号当選者(敬称略)  
○ 囲碁大好き男、○○○  
○ (久慈支部)、ちょこ♥

(二戸支部)、うまつこ(一戸支部)、運だめし(胆沢支部)、まぐろ、よっち Manna (南光支部)、ジャンボうさぎ(千厩支部)、はなちゃん、ゴン太くん (大船渡支部)

## お願い

懸賞パズルに「匿名希望」で応募する方が多くなりました。匿名希望の方は、必ず、ペンネームをつけてご応募ください。

## とんがらし

♪晴れた5月の、青空に。最近ではカラオケに押され、歌う機会も減りました。聴いたことすらないという組合員も

増えています。5月1日、メーデーの定番ソング、「晴れた五月に」のイントロです▼メーデーといえば、アメリカの労働者が8時間労働を求めてストライキに立ち上がったことが起源とされています。しかし、メーデーは、労働時間短縮だけではなく、世界の労働者が団結して、世の中を変えていこう、という決起の場でもありました。日本で最初のメーデー、1920年(大正9年)5月2日の日曜日、上野公園の集会では、要求は「8時間労働時間制実現」、そして「失業防止」「最低賃金法制定」「シベリヤ即時撤兵」などが掲げられました。戦後初のメーデーは「働けるだけ食わせろ」のプラカードが目立ったことでした▼さて、今年のメーデーは、どんなスローガンが翻っているでしょうか。東日本大震災からの復興は、すでに2つの大きな岐路に立たされています。1つは「安全」のために防波堤の再建を最優先に、もう1つは箱物よりも生活の再建を求める道です。上からも、横からも、そして被災した現場からも、この2つの「のろし」が上がり、これまではどうも前者が優勢でした▼晴れた青空に鯉のぼりが似合うように、5月の青空に労働者の団結で「生活最優先の再建を」のスローガンをはためかせましょう。岩手の地酒、地ビールで盛り上がりましょう。もちろん、メーデーの歌を謡い、節度をもって。(は)



## 県医労第67回定期大会

とき 6月17日(金)～18日(土)  
ところ ホテル大観 (盛岡市つなぎ)



### 職場川柳

- ◇管総理 被災地訪問 後手になり  
(何してくれるんだか)
- ◇安全は 想定外で レベル7  
(原子力・安全保安院)
- ◇ごり押しの 人事異動で 誰か泣く  
(冷血医療局)
- ◇被災地へ 梅や桜の 春便り  
(ほつとするな！)
- ◇希望とは 生きていること だけじゃない  
(医療局の方針示せ)

### 懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送り先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は5月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶ



まちがいは7 桂



やき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお忘れなく！

### 5月の予定

- 1日(日) メーデー
- 3日(祝) 憲法記念日のつどい
- 14日(土) ナースウェーブ集会
- 21日(土) 支部長会議(水産会館)
- 21日(土)～22日(日)  
岩手医労連青年部プレアクト in 北上

### 6月の予定

- 6日(日) 県医労看護部会(盛岡・水産会館)
- 11日(土)～12日(日)  
労働安全衛生中央学校(名古屋)
- 17日(金)～18日(土)  
県医労第67回定期大会(ホテル大観)
- 17日(金)～19日(日)  
日本医労連全国医療研究集会(新潟)

